

多収で、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性のでん粉原料用馬鈴しょ新品種「コナユタカ」を開発しました

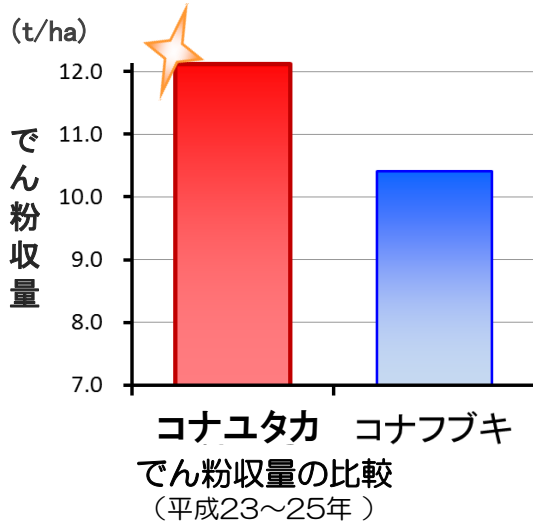
背景

- 多収のでん粉原料用馬鈴しょ品種を求める現場からの強い要望。
- 現行の主力品種「コナフブキ」は、馬鈴しょ生産の大敵である線虫に弱く、安定生産が困難。



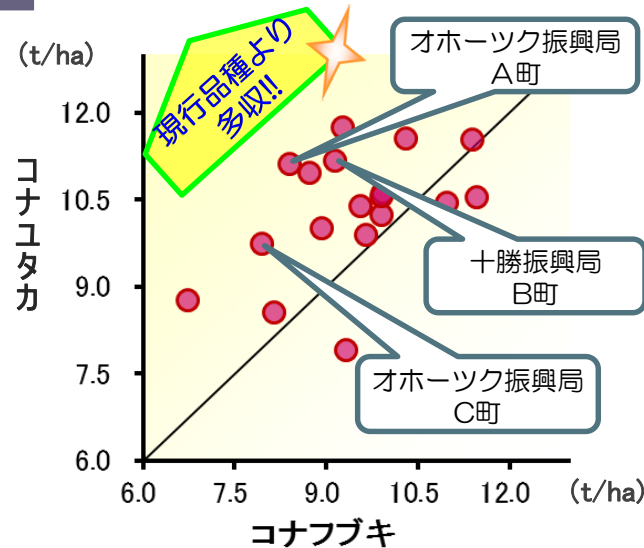
成果

1 でん粉収量が多い（高収益）



現行の主力品種「コナフブキ」より10%以上の多収で高い収益性が得られます

2 道内各産地で多収性を示す



年次・栽培地域を問わず、概ね多収です

3 線虫への抵抗性が高い



抵抗性品種はセンチュウ汚染ほ場でもシストが付かず減収しない!

ジャガイモシストセンチュウに対して抵抗性を持ち生産者が安心して栽培できます

期待される効果

- 馬鈴しょでん粉の安定供給に寄与することができ、企業と生産者の双方の利益性向上。
- 線虫抵抗性品種の普及により、北海道の畑輪作に大きく貢献。